2015-B					
拠出金・基金の名称		TICADプロセス推進支援拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国連開発計画					
【所管官庁担当局課・室名】外務省アフリカ部アフリカ第二課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>TICADプロセスは我が国の対アフリカ外交の基軸であり、1993年の「第1回アフリカ開発会議(TICAD)」以来、同会議を定期的開催し、アフリカにおける開発問題に継続的に取り組んでいる。本拠出金ではUNDPがアフリカの開発分野において有する豊富なノウハウを活用し、TICADの重点項目を取り入れた技術協力やワークショップ及びTICADプロセスが重視するアフリカ地域機関との協力強化やその能力強化に資するセミナーを実施しているほか、TICADの効果的広報にも活用している。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成27年度	186,358	1,694		1米ドル = 110円	100
平成26年度	86,358	900		1米ドル = 97円	100
平成25年度	73,764	900		1米ドル = 82円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>TICAD共催者であるUNDPに対し拠出することにより、TICADにおけるUNDPの積極的な関与を確保することが出来ており、TICADプロセス及び我が国の対アフリカ外交を多角的かつ専門性の高いものとすることに貢献している。特にUNDPは全てのアフリカ諸国に事務所を設置していることから、強力な域内ネットワークを活用することができ、TICADプロセスを補完する意味においても、本拠出基金を通じたUNDPからの協力は非常に意義深いといえる。</p> <p>平成27年においては、TICAD Vにおける公約の実現に向け、具体的には下記を達成することが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済成長の促進を目的とした産業政策アドバイザーの派遣：10カ国(平成27年時点10カ国(100%)) ・経済成長の促進を目的とした資源開発人材育成：1000人(平成27年時点：2181人(218%)) ・インフラ整備・能力強化を目的としたABEイニシアティブによる留学生受け入れ：1000人(平成27年時点：473人(47%)) 					